

風力発電事業における 鳥類のセンシティブティマップ 事業者向け説明会

平成30年1月

目次

1. 概要
2. 作成方法
3. 環境影響評価について
4. 操作方法
5. 事例

1. 概要

1. 目的
2. 内容
3. 活用範囲

1.1 目的

自然環境の保全と再生可能エネルギー導入の両立を図るため、センシティブティマップを作成することで、自然環境に配慮した再生可能エネルギーの適切な導入を加速する。

【課題】

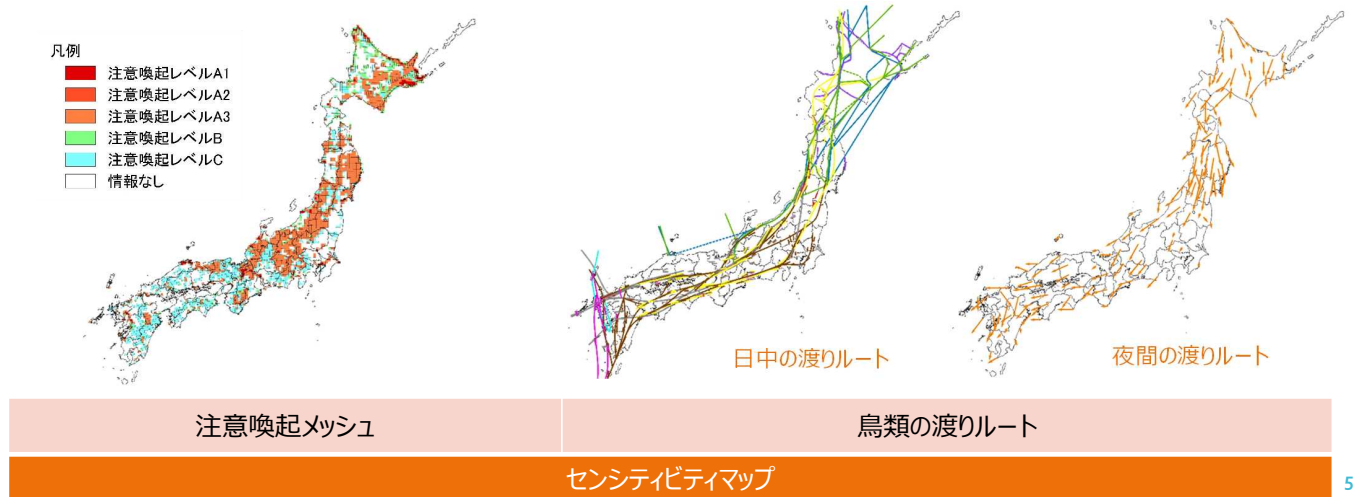
- バードストライク等に対する懸念が発生し、事業計画の見直し等に至る事例が生じている
- 鳥類の調査が不十分なため、追加調査を実施せざるを得ない事例等が生じている

センシティブティマップ 作成

【期待される効果】

- 鳥類への影響が懸念される可能性のある区域をあらかじめ把握することで、鳥類に配慮した事業計画の立案に貢献
- 事前に鳥類の調査手法等の検討に資する情報を提供することで、環境影響評価手続き等の円滑化に貢献

1. センシティブティマップは、「注意喚起メッシュ」と「鳥類の渡りルート」の図面を表示。
 - ① 「注意喚起メッシュ」は、10kmメッシュで表示。
 - ② 「鳥類の渡りルート」は、地図上にラインで表示。
2. 今回は、北海道、本州、四国、九州（淡路島、対馬及び福江島を含む）で作成。
3. センシティブティマップは注意喚起を行うものであり、建設してはいけない場所を示した地図ではない。



構成要素

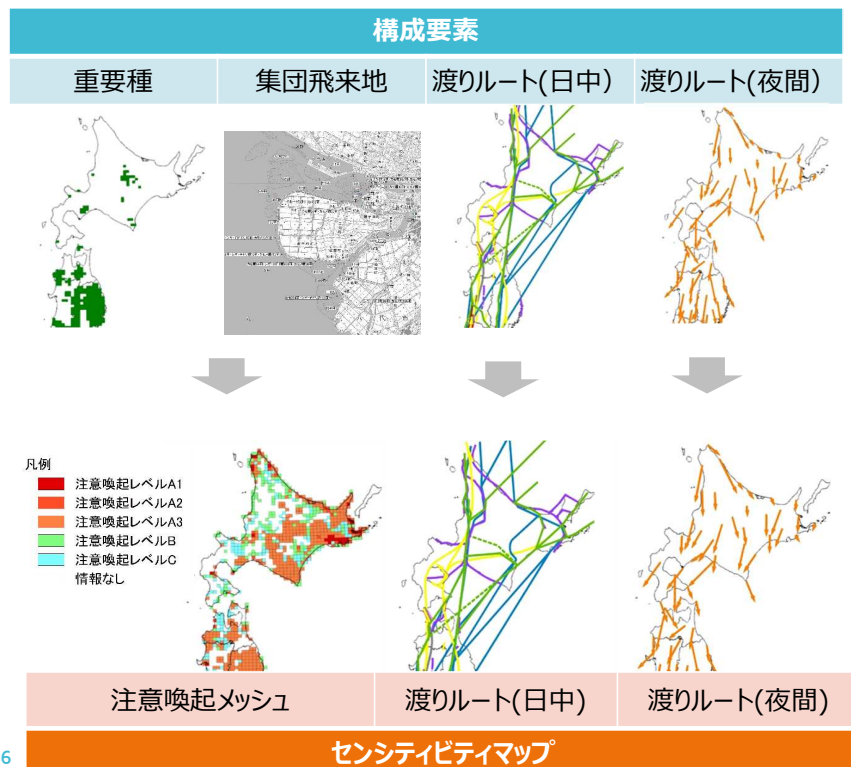
- **重要種**：主に文献調査
- **集団飛来地**：主にヒアリング調査及び現地調査
- **渡りルート**（日中のルート）：主に文献調査
（夜間のルート）：現地調査

センシティブティマップ

- **注意喚起メッシュ**：重要種と集団飛来地を重ね合わせることで、3つのレベルで評価。
- **渡りルート**：日中のルートと夜間のルートの2つを作成。

公表

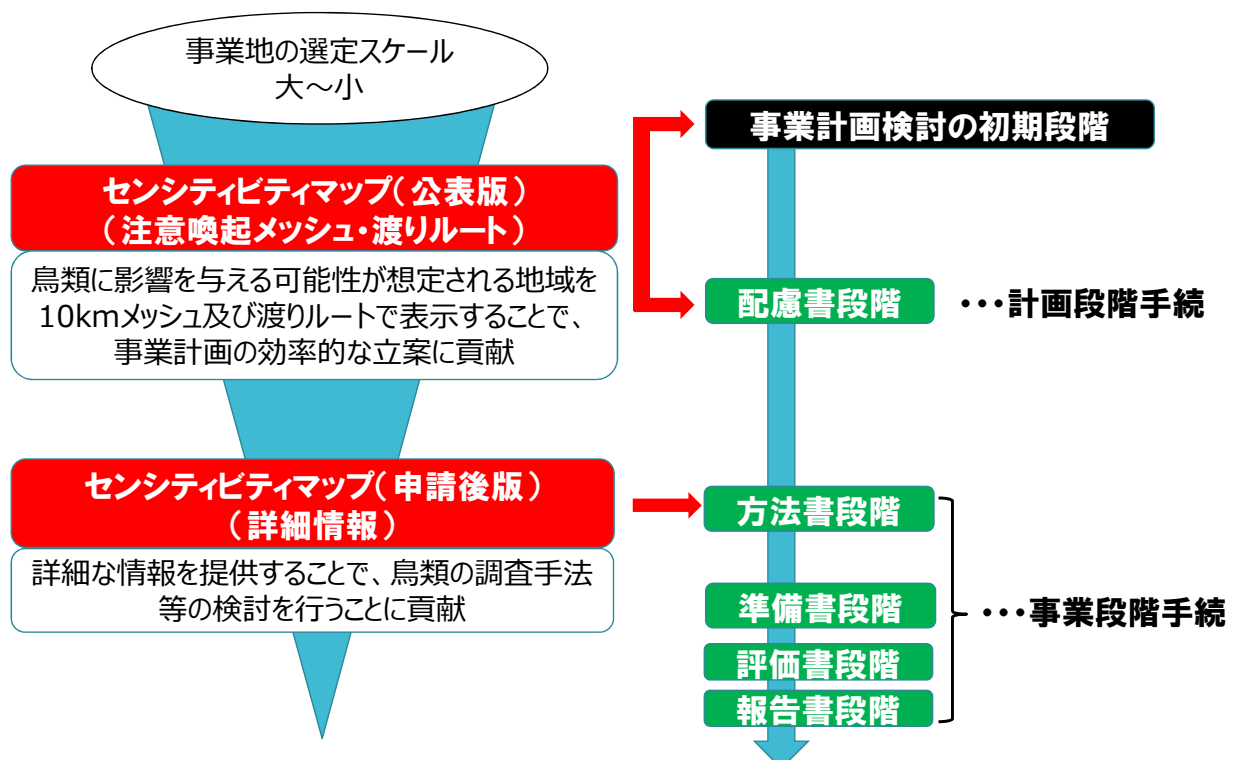
- 環境アセスメントデータベースシステム（EADAS）にて公表
- 一部のデータについては、重要な種の位置情報を含むため、閲覧には申請が必要



- バードストライクについては、オジロワシをはじめとする、トビ、カモメ類等の大型の鳥類の事例が知られてきた。
- しかし、近年、既設風車における現地調査により、キビタキ、ウグイス等の小型の鳥類にもバードストライクが生じていることが明らかになった。
- また、小型の鳥類のバードストライクの時期を調べると、多くが渡り期に生じていた。



- 今回、センシティブティマップ作成にあたり、小型の鳥類（小鳥類）を対象に、それらの渡りルートや飛翔高度などを調査することとした。
- 小鳥類は夜間に渡りを行うため、夜間の現地調査（レーダー調査）を行った。



2. 作成方法

1. 重要種
2. 集団飛来地
3. 注意喚起メッシュ
4. 渡りのルート
5. センシティブティマップ
6. その他

2.1 重要種 種の選定・ランク

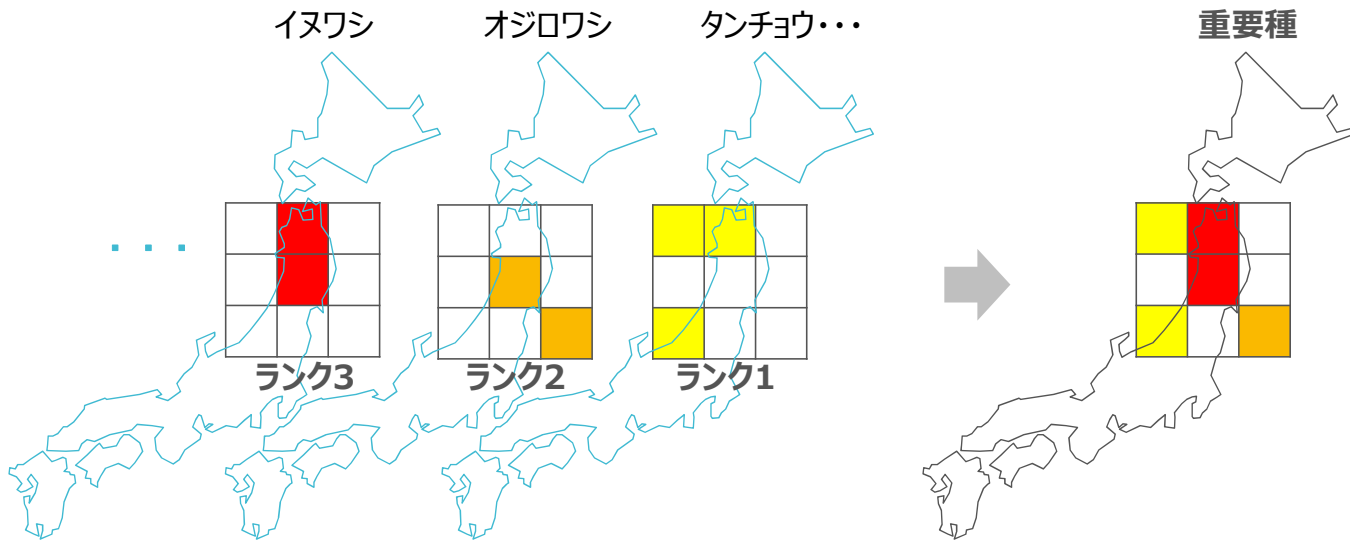
- 重要種は環境省レッドリストの絶滅危惧種・野生絶滅（98種）から生息環境、風車との関連性等を勘案し、10種を選定
- 10種について、現在の個体数、個体数の減少傾向、生息地の局所性や特殊性、国内での現状を考慮したバードストライクとの関連性を考慮して3～1のランクを付加

ランク	種名
3	イヌワシ、チュウヒ、オオヨシゴイ、サンカノゴイ、シマフクロウ
2	オジロワシ
1	クマタカ、オオワシ、タンチョウ、コウノトリ

ランクの大きなものほどセンシティブティが高い

2.1 重要種 重ね合わせ

- 重要種10種の分布を文献調査等により収集し、10kmメッシュで表記
- 10種の分布を重ね合わせ、メッシュ毎にランクの最も高い点数を採用



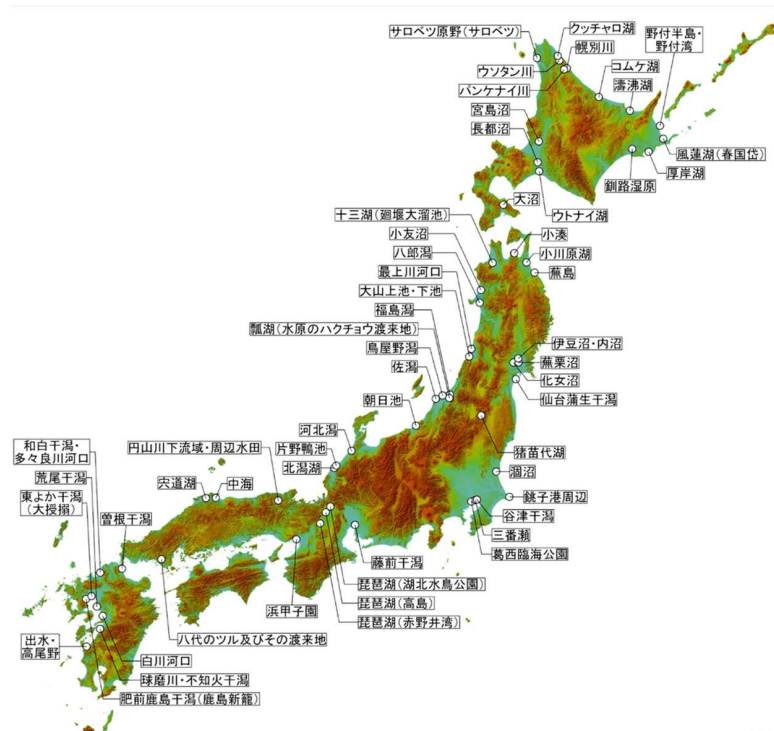
11

2.2 集団飛来地 データ収集

- まず文献により全国の集団飛来地を把握
- それらのうち、特に主要なものについてヒアリング調査及び現地調査によりデータを収集
- 現地調査は全国58地点で実施

調査地点の選定方法

- ① ラムサール条約登録地のうち、選定理由に「集団分布地」が含まれる登録地
- ② 国指定鳥獣保護区のうち、「集団渡来地」として指定されている地域
- ③ モニタリングサイト1000の調査地点のうち、年間個体数が10万羽以上の地域
- ④ 天然記念物のうち、集団渡来地・集団繁殖地に指定されている地域
- ⑤ 有識者ヒアリングにおいて、海ワシの集団分布地とされる地域

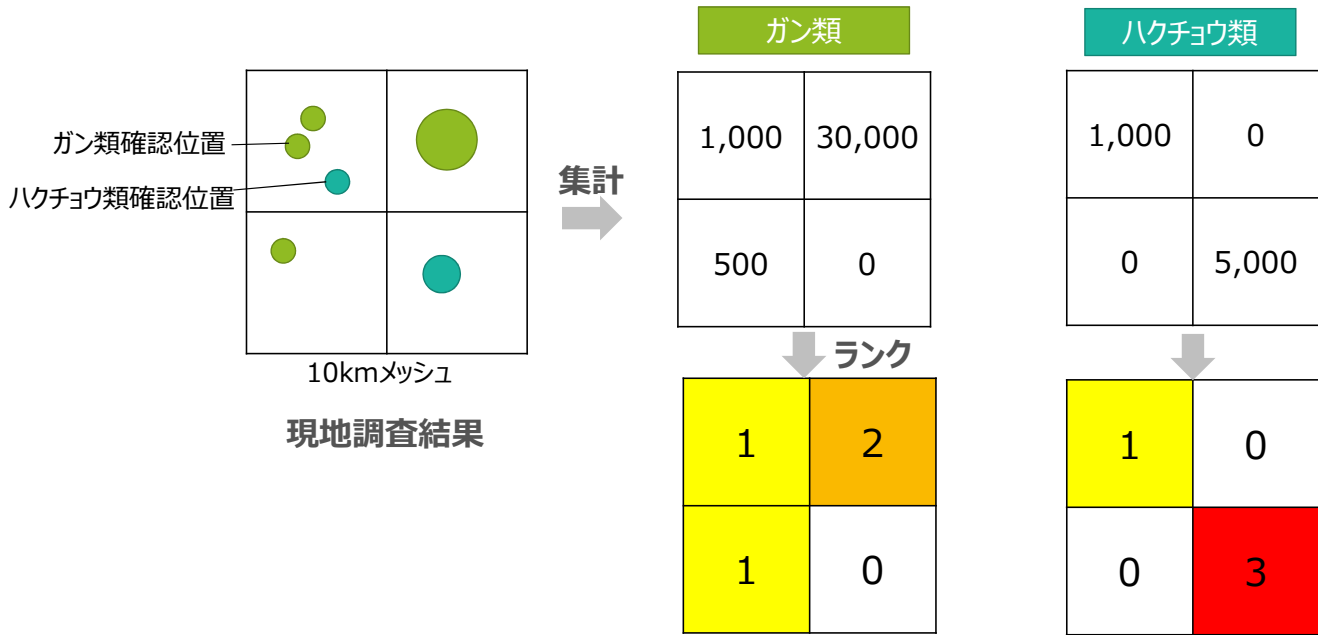


12

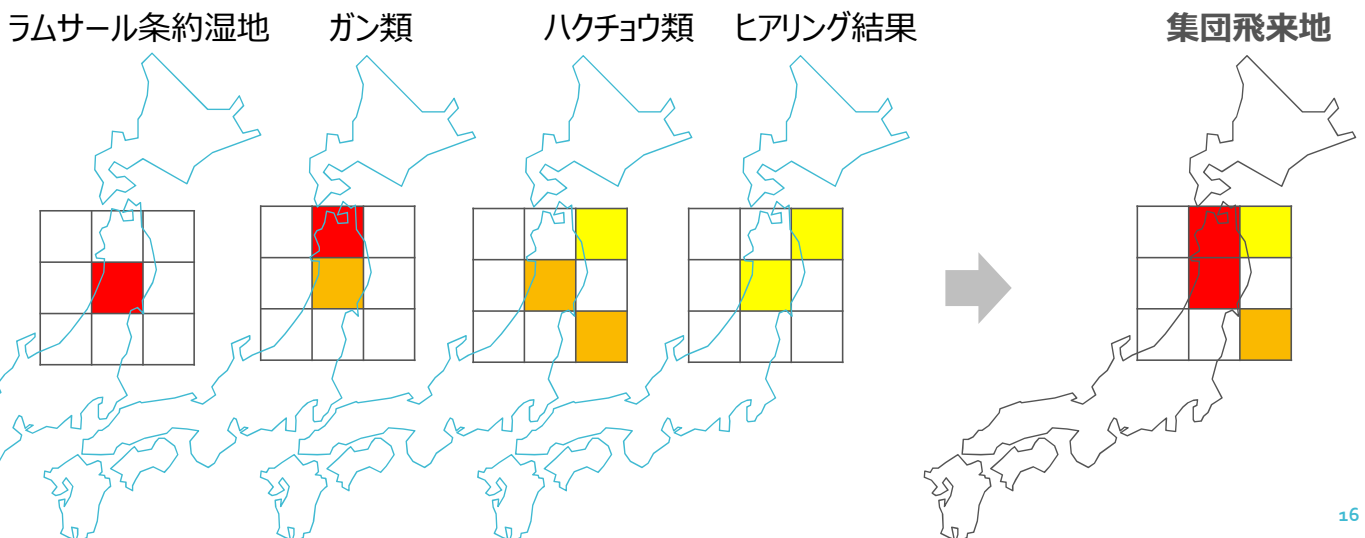
- 全国の著名な集団飛来地について、鳥類の利用状況を専門家にヒアリング
- 特に、集団塹と集団餌場の位置を確認

- 全国の著名な集団飛来地で、集団塹や集団餌場における各分類群の個体数を記録
- その他、モニタリングサイト1000や文献情報からも集団飛来地のデータを収集

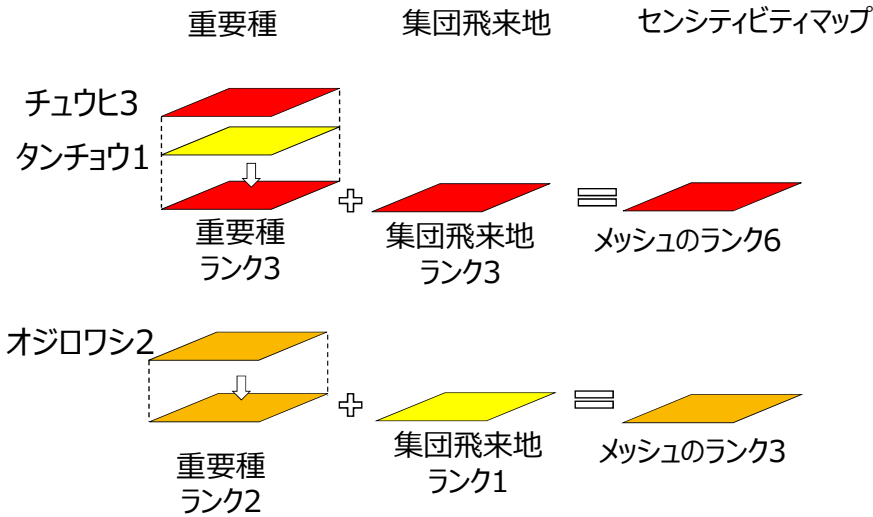
- 現地調査結果は、各分類群ごとの個体数を10kmメッシュごとに集計
- 分類群ごとに個体数に応じて、メッシュに3～1のランクを付加



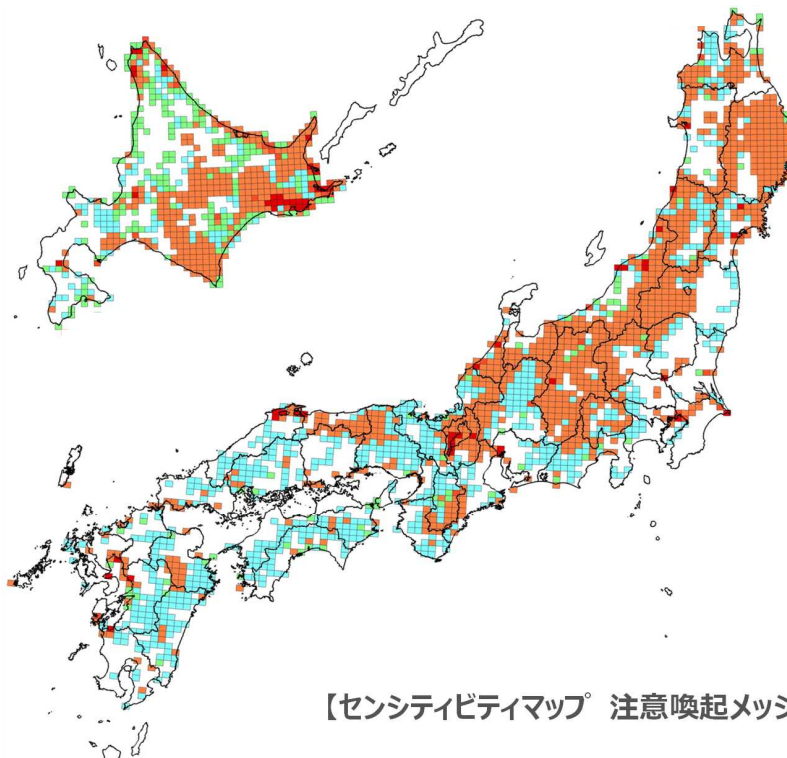
- ラムサール条約湿地及び国指定鳥獣保護区を含む10kmメッシュは一律ランク3
- 現地調査・文献調査については、各分類群ごとに10kmメッシュの個体数からランク付け
- ヒアリング調査の情報を含む10kmメッシュは一律ランク1
- これらの10kmメッシュを重ね合わせ、メッシュ毎にランクの最も高い点数を採用



- センシティブティマップのメッシュは、重要種と集団飛来地のランクを合計することにより評価
- メッシュの評価は、注意喚起レベルA～Cとした（Aはさらに1～3に分割）



メッシュのランク	注意喚起レベル
6	A1
5	A2
3~4	A3
2	B
1	C
0	情報なし

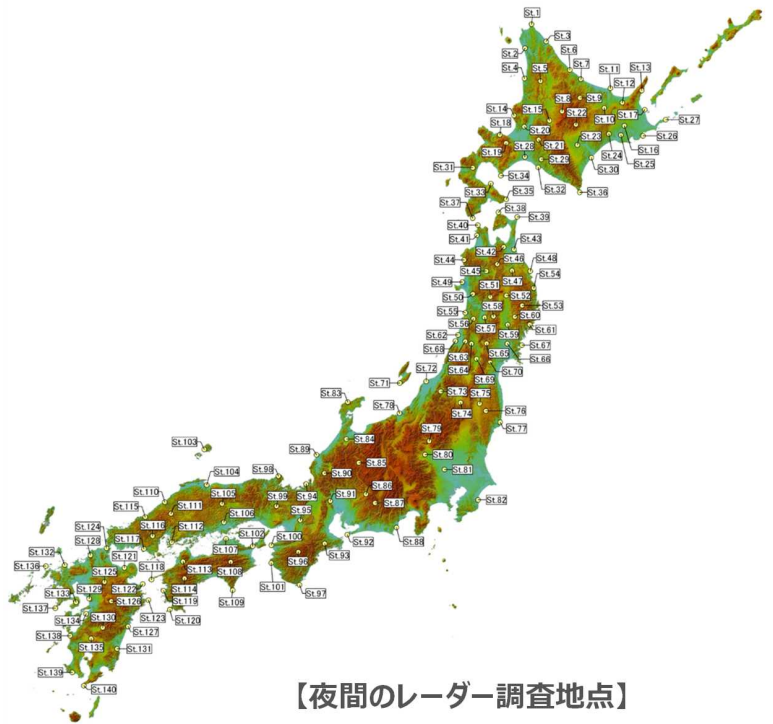


凡例

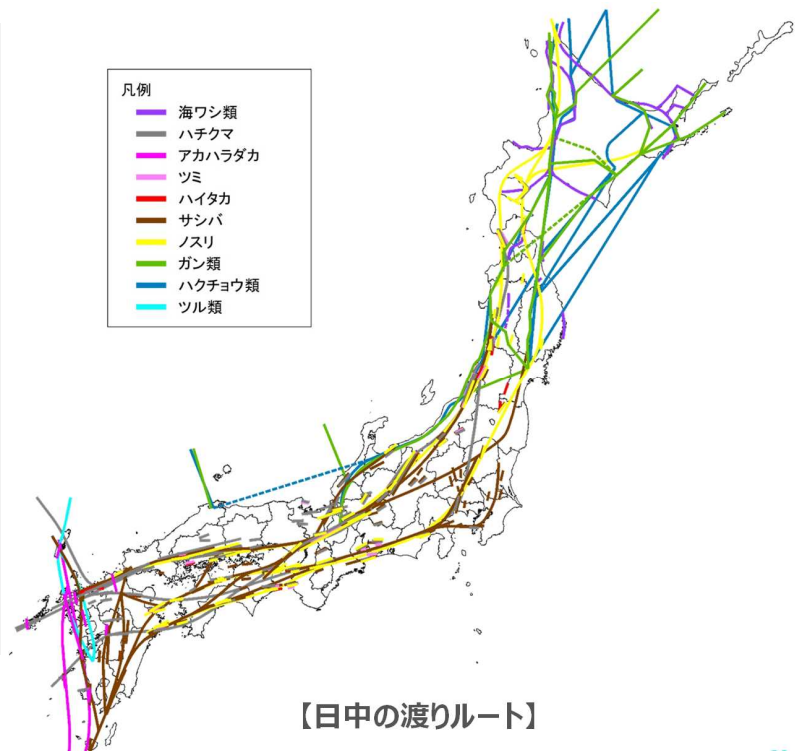
■	注意喚起レベルA1
■	注意喚起レベルA2
■	注意喚起レベルA3
■	注意喚起レベルB
■	注意喚起レベルC
■	情報なし

【センシティブティマップ 注意喚起メッシュ】

- 日中の渡りルート
 - 文献調査及びヒアリング調査
 - 対象：猛禽類、ガン類、ハクチョウ類等
- 夜間の渡りルート
 - 現地調査（レーダー調査）
 - 対象：夜間に渡る鳥類
 - 現地調査は北海道～九州までの140カ所を実施



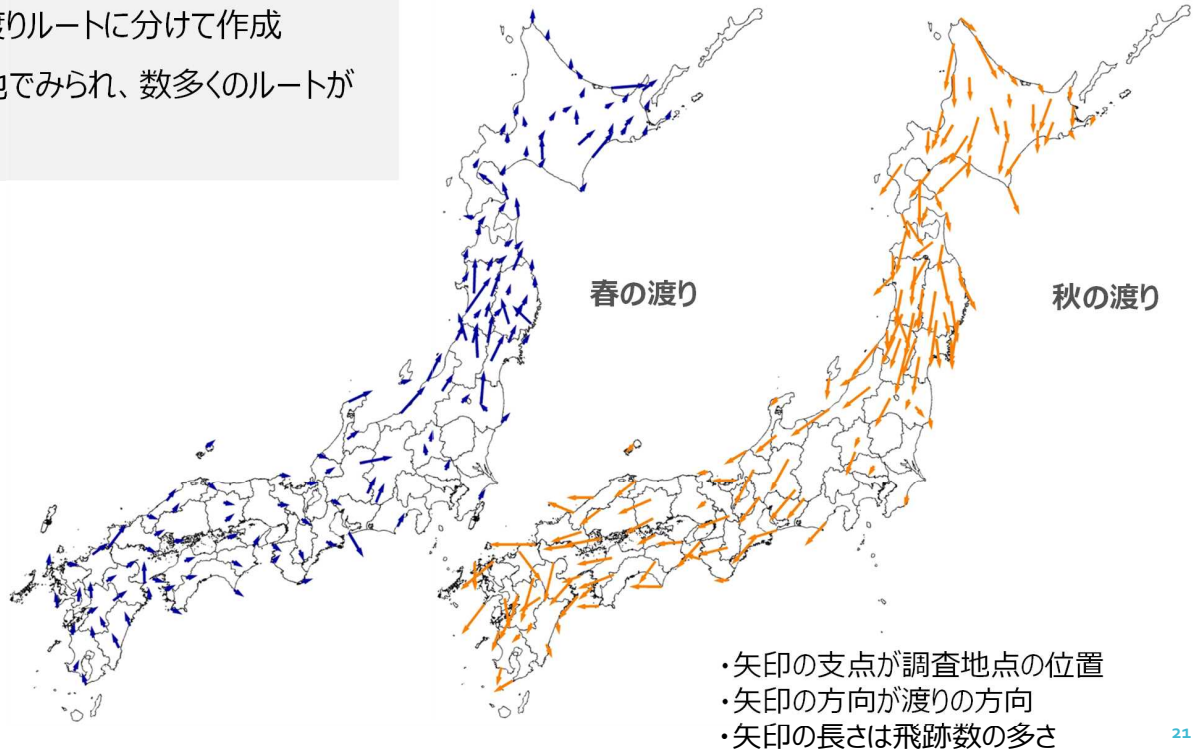
- 日中の渡りルート調査は、文献と専門家へのヒアリング調査により実施
 - 環境省（2015）平成26年度風力発電施設に係る渡り鳥・海ワシ類の情報整備委託業務
 - 環境省（2014）平成25年度風力発電施設に係る渡り鳥・海ワシ類の情報整備委託業務
 - 環境省（2009）平成21年度渡り集結地衝突影響分析業務
 - 環境省渡り鳥関連情報
- 日中の渡りルートは、種は限定されるものの、比較的明確なルートが存在すると考えられた。



2.4

渡りルート 夜間の渡りルート

- 春の渡りルートと秋の渡りルートに分けて作成
- 夜間の渡りは日本各地でみられ、数多くのルートが存在すると考えられた。



【夜間の渡りルート】

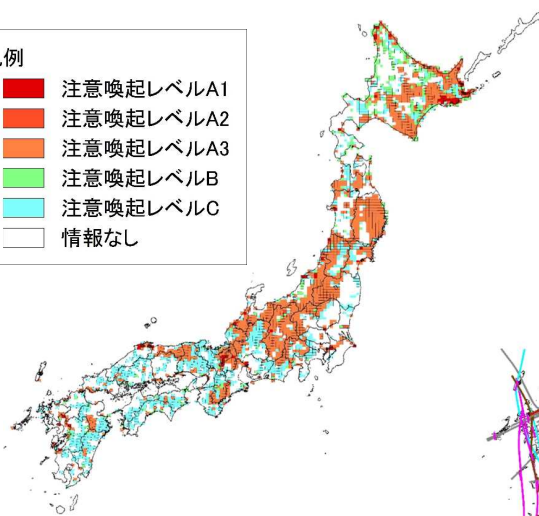
21

2.5

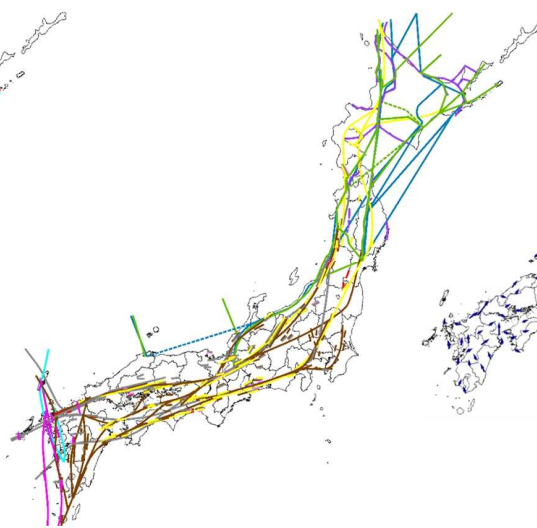
センシビティマップ

凡例

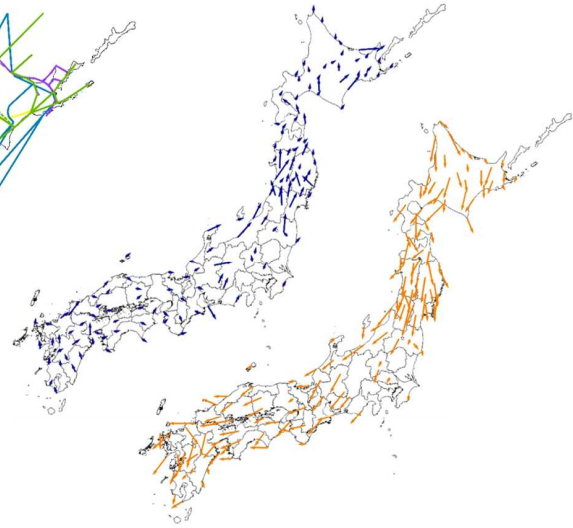
- 注意喚起レベルA1
- 注意喚起レベルA2
- 注意喚起レベルA3
- 注意喚起レベルB
- 注意喚起レベルC
- 情報なし



【注意喚起メッシュ】



【日中の渡りルート】



【夜間の渡りルート】

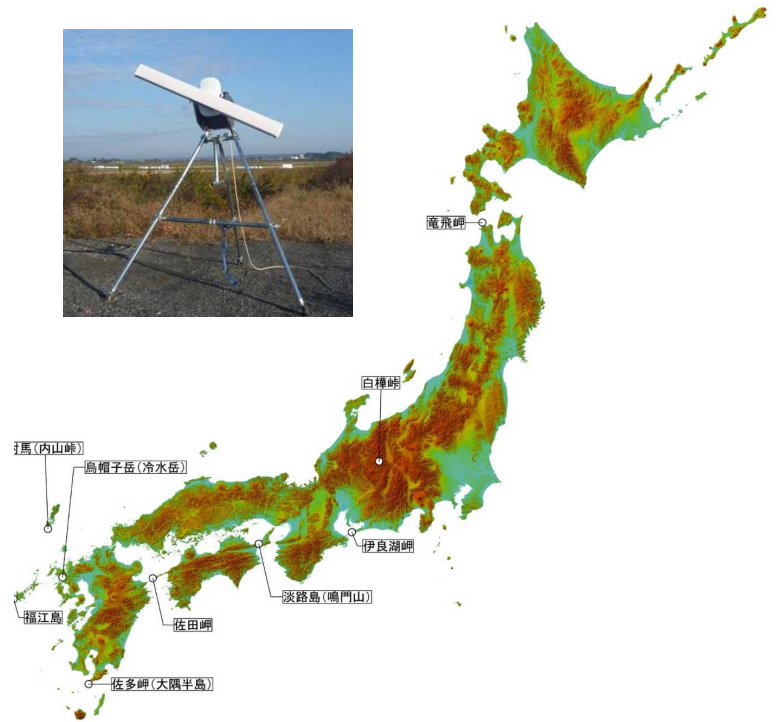
- 注意喚起レベルA～Cのメッシュでは、バードストライクとの関連性が高い重要種の分布や集団飛来地があり、注意が必要。

- 日中の渡りルート上もしくはそれに近隣する地域では、日中の渡りルートに注意が必要。

- 夜間の渡りルートは広くみられるため、本図を参考に注意する。

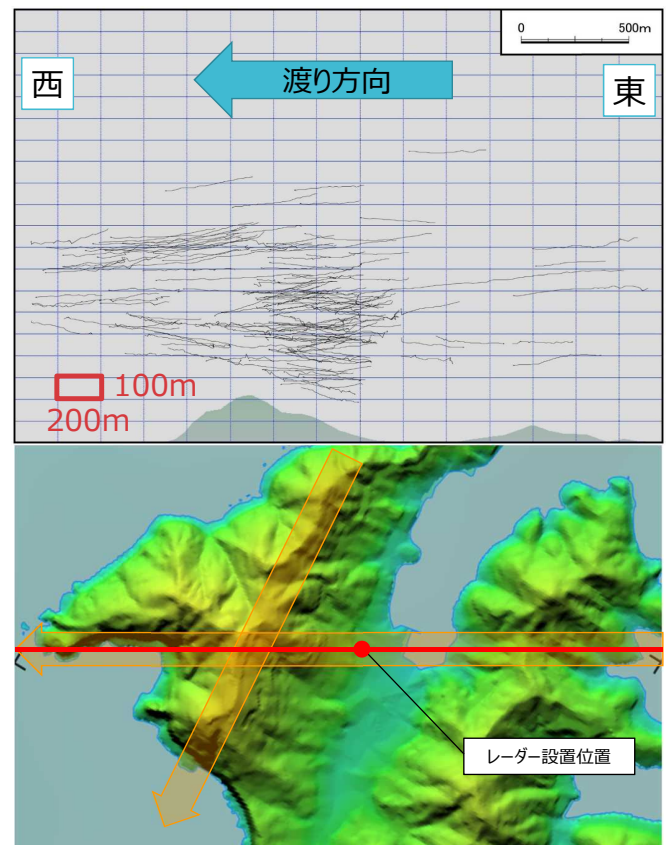
22

- 著名な猛禽類の渡りの集結地について、レーダーを用いた現地調査を実施
- 調査は全9地点において、猛禽類の渡りの高度や方向を記録
 - 竜飛岬（青森県）
 - 白樺峠（長野県）
 - 伊良湖岬（愛知県）
 - 淡路島（兵庫県）
 - 佐田岬（愛媛県）
 - 対馬（長崎県）
 - 烏帽子岳（長崎県）
 - 福江島（長崎県）
 - 佐多岬（鹿児島県）



調査結果一例

- 長崎県福江島
- 平成29年10月4日 6:30~7:00、13:00~15:00
- 渡りの方向は東から西または北東から南西
- 高高度を渡る個体は、高度を変えずに飛翔
- 低高度を渡る個体は、山地に沿って高度を変えながら飛翔



- 重要種10種のデータのとりまとめにあたっては最新の分布情報の入手に努めましたが、イヌワシのように過去に生息が確認されているものの近年は生息が確認されていない地域が含まれている種、オジロワシやタンチョウのように近年分布が広がっている種、オオワシやガン類のように年により分布が大きく変化する種があります。また、シマフクロウの分布域は「生息地の連続性と目標つがい数を確保する上で重要な地域」を引用しています。
- 日中の渡りルートは、文献や有識者へのヒアリングにより推定しましたが、渡りのルートは地形や天候等の条件によりコースや幅が変化します。このような性質の情報であることから、表示する縮尺は1:2,311,162までとし、それよりも拡大した縮尺では表示していません。

- 注意喚起レベルで「情報なし」としたメッシュは、重要種が分布しておらず、集団飛来地もないことから注意喚起レベルが低いと評価された場合だけでなく、もともと鳥類の生息状況の情報そのものがない場合も含まれています。そのため、「情報なし」のメッシュであっても、環境影響評価の手続きにおいては十分な調査を実施してください。
- これに対して、注意喚起レベル「A」～「C」と評価されたメッシュでは、バードストライクとの関連性が高い重要種が分布していることや、鳥類の集団飛来地があることが分かっています。そのため、環境影響評価の手続きを進めるにあたっては、特に重点的な調査が必要になります。該当する項目（重要種や集団飛来地）を参考にして、より詳細な調査を行ってください。例えば、重要種が生息するメッシュでは、その種を対象とした詳細調査を実施する必要があります。また、集団飛来地が該当する場合、ねぐらや餌場の位置、そのルートなどに着目した調査が必要となります。渡りルートが事業計画地及びその近隣にある場合には、渡り鳥の調査を詳細に実施する必要があります。

- 注意喚起レベルを表示したメッシュの大きさは、10km四方で表示しています。そのため、重要種や集団餌場・集団埒は必ずしもメッシュ内の全面に分布しているわけではなく、メッシュ内のごく一部にだけに分布している場合も含まれています。
- 注意喚起レベルの高いメッシュや、渡りルート上もしくはそれに近隣する地域で事業を計画する場合は、より高い保全措置が必要になる可能性があることに注意して、事業計画を立案してください。

- 一部のデータについては、重要な種の位置情報を含むため、閲覧には申請が必要
- 内容は、集団飛来地の現地調査結果とヒアリング調査結果等
- これらの詳細な情報は鳥類の調査手法等の検討を行うことに貢献

保全方針の作成・公表（アセスでの活用）

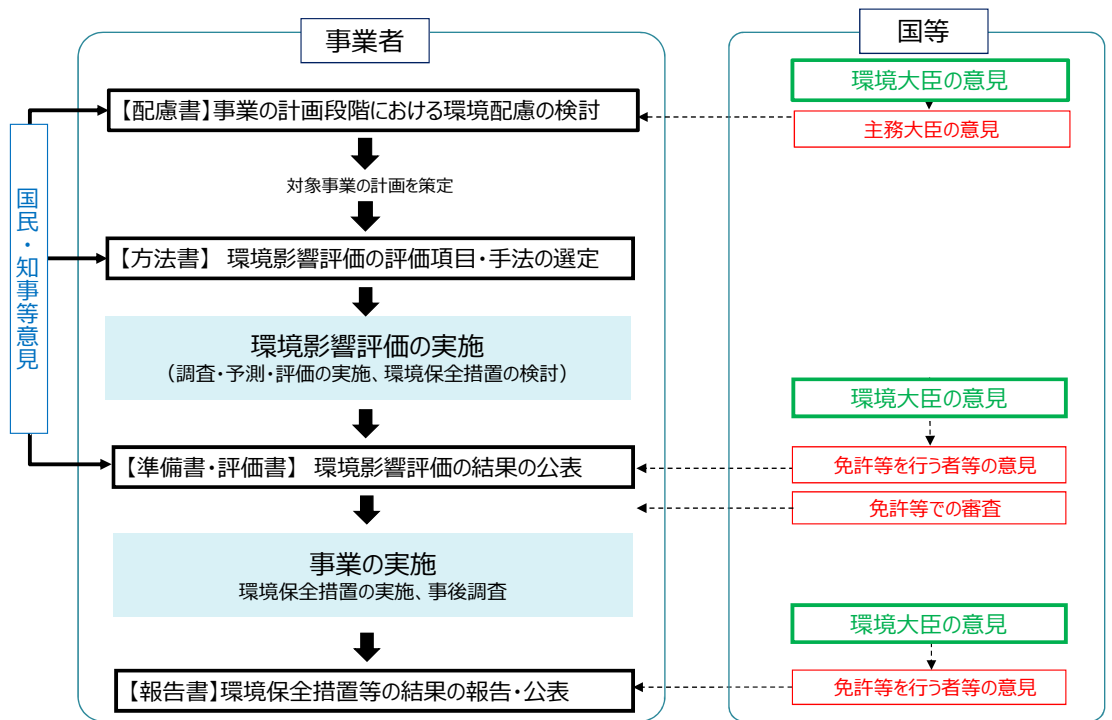
- 鳥類等に関する風力発電施設立地適正化の手引き（平成23年1月公表）
- 猛禽類保護の進め方（改訂版）（平成24年12月公表）
- サシバの保護の進め方（平成25年12月公表）
- コアジサシ繁殖地の保全・配慮指針（平成26年3月公表）
- ミゾゴイ保護の進め方（平成28年6月公表）
- チュウヒ保護の進め方（平成28年6月公表）
- 海ワシ類の風力発電施設バードストライク防止策の検討・実施手引き（平成28年6月公表）

3. 環境影響評価について

1. 環境影響評価
2. EADAS（環境アセスメントデータベースシステム）

3.1 環境影響評価

- 事業者自らがあらかじめ事業の実施前に環境への影響を評価し、その結果を公表して、国、地方自治体、国民から意見を聴き、それらの意見を踏まえることで、環境の保全の観点から、よりよい事業が行われるようにする手続。



3.2 EADAS（環境アセスメントデータベースシステム）

- 環境アセスメントに活用できる環境基礎情報（貴重な動植物の生息・生育状況等の情報）のデータベース化及びその提供を通じて、質が高く効率的な環境アセスメントの実施を促進。
- 風力発電等の影響を受けやすい場所を予め明らかにすることにより環境影響の回避・低減。



データベースシステムの構成

- ① 地理情報システム (GIS)**
 - 全国環境情報
 - 再生可能エネルギー情報
 - 情報整備モデル地区環境情報
 - 環境影響調査前倒方法実証事業情報
- ② 情報整備モデル地区環境情報 報告書**
 - 情報整備モデル地区で実施した地域文献調査、地域ヒアリング調査、現地調査の報告書を検索・閲覧
- ③ 参考文献**
 - 鳥類・コウモリ類への影響、騒音・低周波音に関する文献資料情報を検索・閲覧
- ④ 環境影響評価事例**
 - 都道府県等の条例に基づく風力発電事業の環境影響評価書の検索・閲覧

平成29年7月に
リニューアル版を公開

- 地理情報システム (GIS) の既存環境情報の大幅な拡充
- 情報項目の操作性の向上、モバイル端末への対応

4.操作方法

1. EADASにおける表示
2. レイヤ
3. 原典情報
4. センシティブティマップについて

4.1 EADASにおける表示

Environmental Impact Assessment Database System
環境アセスメントデータベース

EADAS

スマートフォンでの利用
スマートフォン向けサイトを聞く >



「接続の安全性を確認できません」
「プライバシーが保護されません」等の警告が表示されたら >

ニュース&トピックス
過去のトピックスを見る >

2017.12.25
EADASのバンフレットを掲載しました。
下記のリンクをクリックして頂くと、ご覧いただけます。
・A4版
・A3 見開き版
・A3 製本版

推奨動作環境
画面サイズ：1024x768ピクセル以上
ブラウザ：Internet Explorer11以降、Firefox最新版（44以降）、Google Chrome最新版（48以降）、Safari最新版
※地図の閲覧にはブロードバンド接続（10Mbps以上の回線速度）が必要です。

トップページ

このサイトは、環境アセスメントにおいて地域特性を把握するために必要となる自然環境や社会環境の情報を、地図上で閲覧できる地理情報システム（GIS）で提供しています。

このサイトについて データベースを見る

01. 風力発電の環境アセスメント

環境アセスメントの制度は、これまでに様々な事業を対象として手続きが行われ、地域の環境の保全に重要な役割を果たしてきました。

平成24年10月には、風力発電所の設置等の事業が環境影響評価法の対象事業となり、現在、多くの風力発電事業で同法に基づく環境アセスメントの手続きが進められています。

地球温暖化の原因とされる温室効果ガスの排出を削減するためには、再生可能エネルギーの役割がこれまで以上に重要です。

風力発電については、環境への配慮と早期導入の両立が求められており、質が高く効率的な環境アセスメントを推進することが重要となっています。



02. 環境アセスメントデータベース

本システムでは、環境アセスメントにおいて地域特性を把握するために必要となる自然環境や社会環境の情報を、地図上で閲覧できる地理情報システム（GIS）で提供しています。

事業計画の早期の段階で情報をチェックすることが可能となり、また、環境アセスメントに関わるさまざまな関係者に情報が共有されることにより、環境アセスメントが円滑に行われる効果が期待されます。

また、風力発電の環境アセスメントにおいて参考となるパードストライクや騒音等に関する文献情報等を併せて提供しています。

Environmental Impact Assessment Database System
環境アセスメントデータベース

トップページ

このサイトは、環境アセスメントにおいて地域特性を把握するために必要となる自然環境や社会環境の情報を、地図上で閲覧できる地理情報システム（GIS）で提供しています。

このサイトについて
データベースを見る

データベースを見るためには、各情報の「[ここを見る](#)」をクリックしてください。また、その際に表示される利用規約を確認してからご利用ください。

地理情報システム（GIS）

次の情報を地図上に重ねて閲覧できます。

- 全国環境情報
- 再生可能エネルギー情報
- 情報整備モデル地区環境情報
- (NEDO) 環境調査前倒方法実証事業情報

地図を見る >

詳細を見る >

情報整備モデル地区環境情報報告書

情報整備モデル地区環境情報の報告書を閲覧、ダウンロードできます。

報告書を見る >

詳細を見る >

参考文献

風力発電に関する以下の情報を検索、閲覧できます。

- 鳥類・コウモリ類への影響に関する文献資料情報
- 騒音・低周波音に関する文献資料情報
- 風力発電等に関する指針・ガイドライン情報
- 風車諸元（規模、仕様等）の情報

文献を見る >

詳細を見る >

環境影響評価事例

環境影響評価法や条例等に基づいて行われた風力発電所・地熱発電所に係る環境影響評価書の記載内容（概要）を閲覧できます。

事例を見る >

詳細を見る >

スマートフォンでの利用

スマートフォン向けサイトを開く >

「接続の安全性を確認できません」、「プライバシーが保護されません」等の警告が表示されたら >

ニュース&トピックス

過去のトピックスを見る >

2017.12.25
EADASのパンフレットを掲載しました。下記のリンクをクリックして頂くと、ご覧いただけます。

- [A4版](#)
- [A3 見開き版](#)
- [A3 製本版](#)

推奨動作環境

画面サイズ：1024x768ピクセル以上
ブラウザ：Internet Explorer 11以降、Firefox最新版（44以降）、Google Chrome最新版（48以降）、Safari最新版
※地図の閲覧にはブロードバンド接続（10Mbps以上の回線速度）が必要です。

Environmental Impact Assessment Database System
環境アセスメントデータベース

トップページ

このサイト環境や社会情勢を、その際

データベース
た、その際

地理情報
次の情報
• 全国
• 再生
• 情報
• (NE

情報整備モデル地区環境情報報告書

情報整備モデル地区環境情報の報告書を閲覧、ダウンロードできます。

報告書を見る >

詳細を見る >

参考文献

風力発電に関する以下の情報を検索、閲覧できます。

- 鳥類・コウモリ類への影響に関する文献資料情報
- 騒音・低周波音に関する文献資料情報
- 風力発電等に関する指針・ガイドライン情報
- 風車諸元（規模、仕様等）の情報

文献を見る >

詳細を見る >

環境影響評価事例

環境影響評価法や条例等に基づいて行われた風力発電所・地熱発電所に係る環境影響評価書の記載内容（概要）を閲覧できます。

事例を見る >

詳細を見る >

環境アセスメントデータベース利用規約

1. 当ウェブサイトのコンテンツの利用について
当ウェブサイト上で公開している情報（以下「コンテンツ」といいます。）は、別の利用ルールが適用されるコンテンツを除き、どなたでも以下の1）～7）に従って、複製、公衆送信、翻訳・変形等の翻案等、自由に利用できます。商用利用も可能です。
コンテンツ利用に当たっては、本利用ルールに同意したものとみなします。

1) 出典の記載について
ア コンテンツを利用する際は出典を記載してください。出典の記載方法は以下のとおりです。
① 「全国環境情報」に収録されているコンテンツ
全国環境情報のコンテンツは、それぞれの情報項目について原典に関する情報を掲載しています。これらのコンテンツの出典は、原典に関する情報を確認した上で、原則として原典の名称を記載してください。
(出典記載例)
出典：「日本の地形レッドデータブック 第1集及び第2集」（小泉武栄、青木賢人編）
出典：「国土数値情報（土砂災害危険箇所データ）」（平成〇年、国土交通省）
② 「情報整備モデル地区環境情報」に収録されているコンテンツ

利用規約に同意する

トップページに戻る

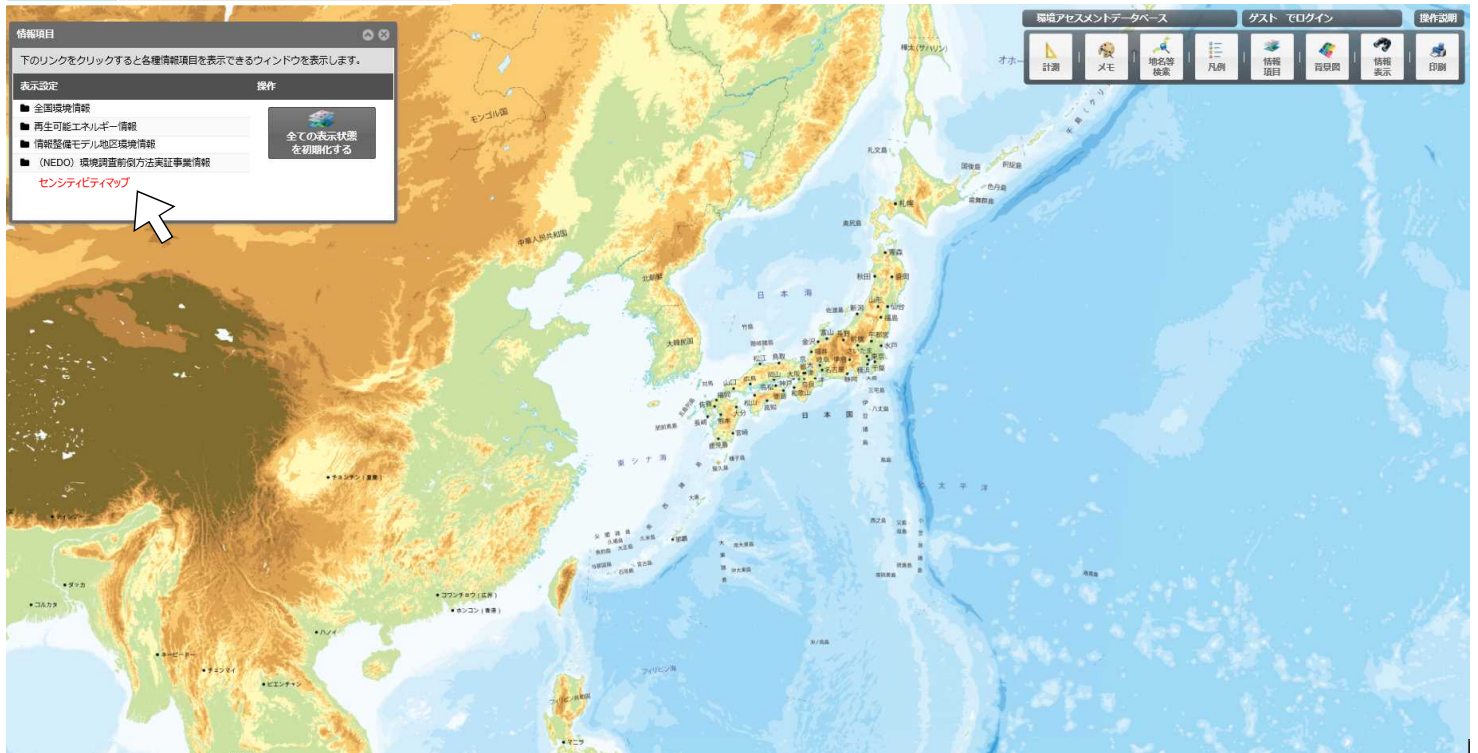
2017.12.25
EADASのパンフレットを掲載しました。下記のリンクをクリックして頂くと、ご覧いただけます。

- [A4版](#)
- [A3 見開き版](#)
- [A3 製本版](#)

推奨動作環境

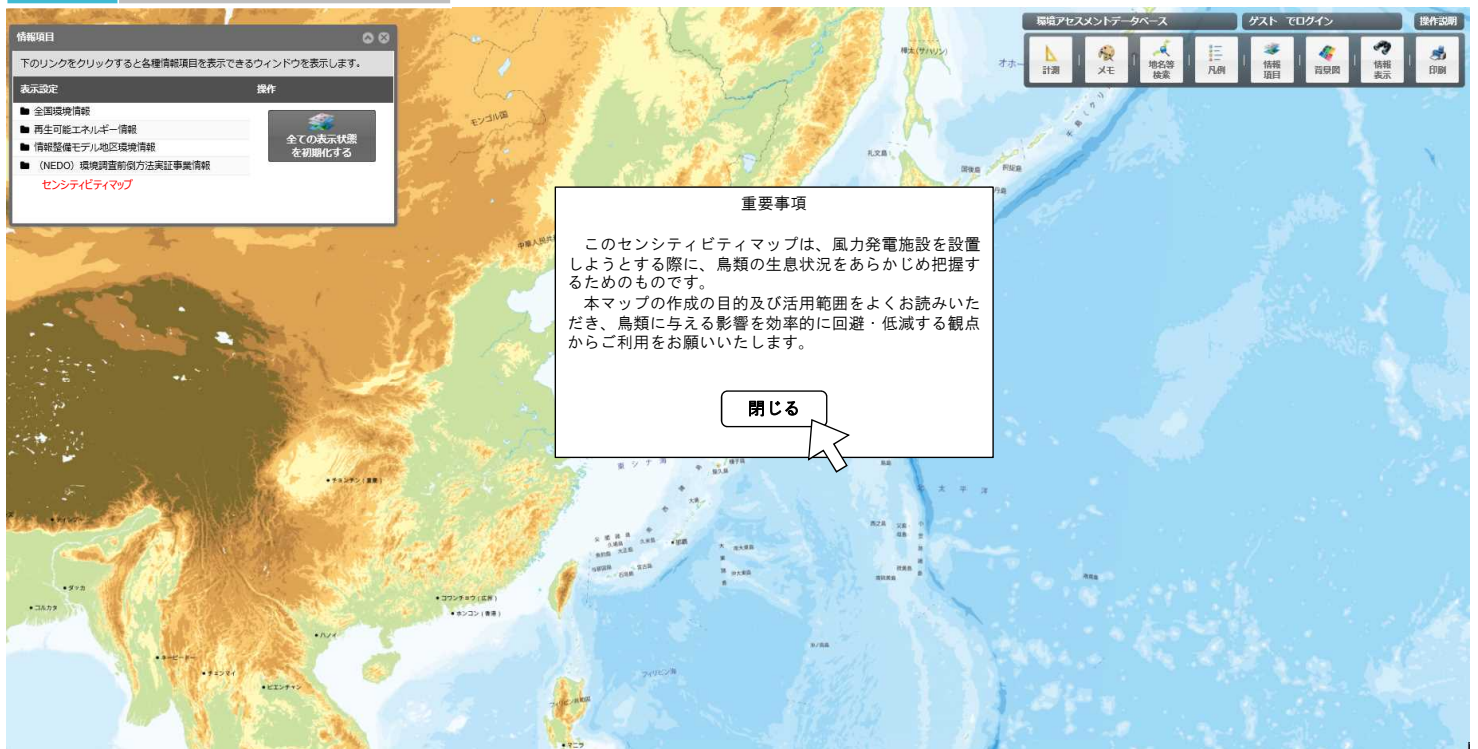
画面サイズ：1024x768ピクセル以上
ブラウザ：Internet Explorer 11以降、Firefox最新版（44以降）、Google Chrome最新版（48以降）、Safari最新版
※地図の閲覧にはブロードバンド接続（10Mbps以上の回線速度）が必要です。

4.1 EADASにおける表示



37

4.1 EADASにおける表示



38

4.1 EADASにおける表示

情報項目

下のリンクをクリックすると各種情報項目を表示できるウィンドウを表示します。

表示設定 操作

- 全国環境情報
- 再生可能エネルギー情報
- 情報整備モデル地区環境情報
- (NEDO) 環境調査前倒方法実証事業情報

センシティビティマップ

全ての表示状態を初期化する

環境アセスメントデータベース

ゲスト ログアウト 操作説明

センシティビティマップ

注意喚起メッシュ

- ・ 注意喚起メッシュ
- ・ メッシュ情報

鳥類の渡りルート

- ・ 日中の渡りルート ルート図
- ・ 夜間の渡りルート ルート図 (春季)
- ・ 夜間の渡りルート ルート図 (秋季)
- ・ 夜間の渡りルート 飛翔方向グラフ (春季)
- ・ 夜間の渡りルート 飛翔方向グラフ (秋季)
- ・ 夜間の渡りルート 高度別飛跡数表 (春季)
- ・ 夜間の渡りルート 高度別飛跡数表 (秋季)

重要種

その他

ラムサール条約湿地及び鳥獣保護区 (国指定)

- ラムサール条約湿地
- 鳥獣保護区 (国指定)

2次メッシュ番号

- 2次メッシュ番号

重要種の繁殖期・非繁殖期の分布 (申請後)

- 重要種の繁殖期・非繁殖期の分布

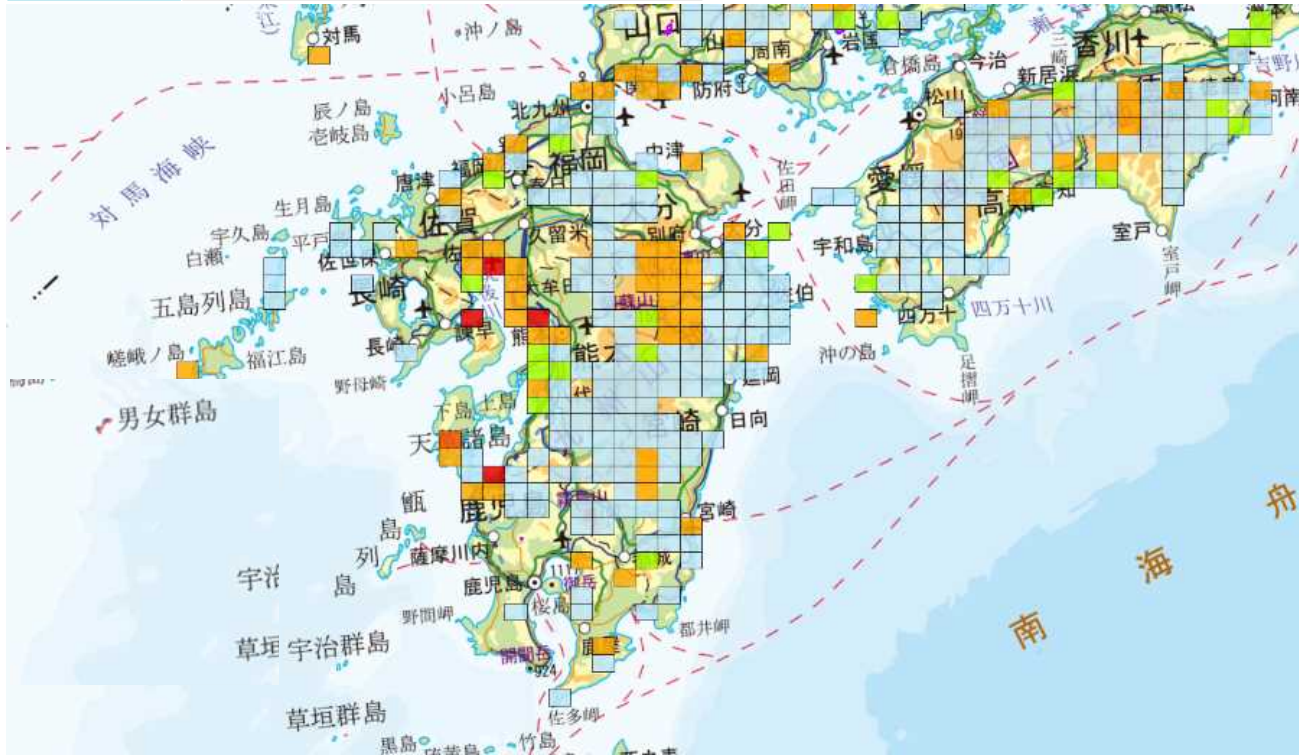
集団飛来地の調査結果 (申請後)

- 集団飛来地の現地調査結果
- 集団飛来地のヒアリング調査結果

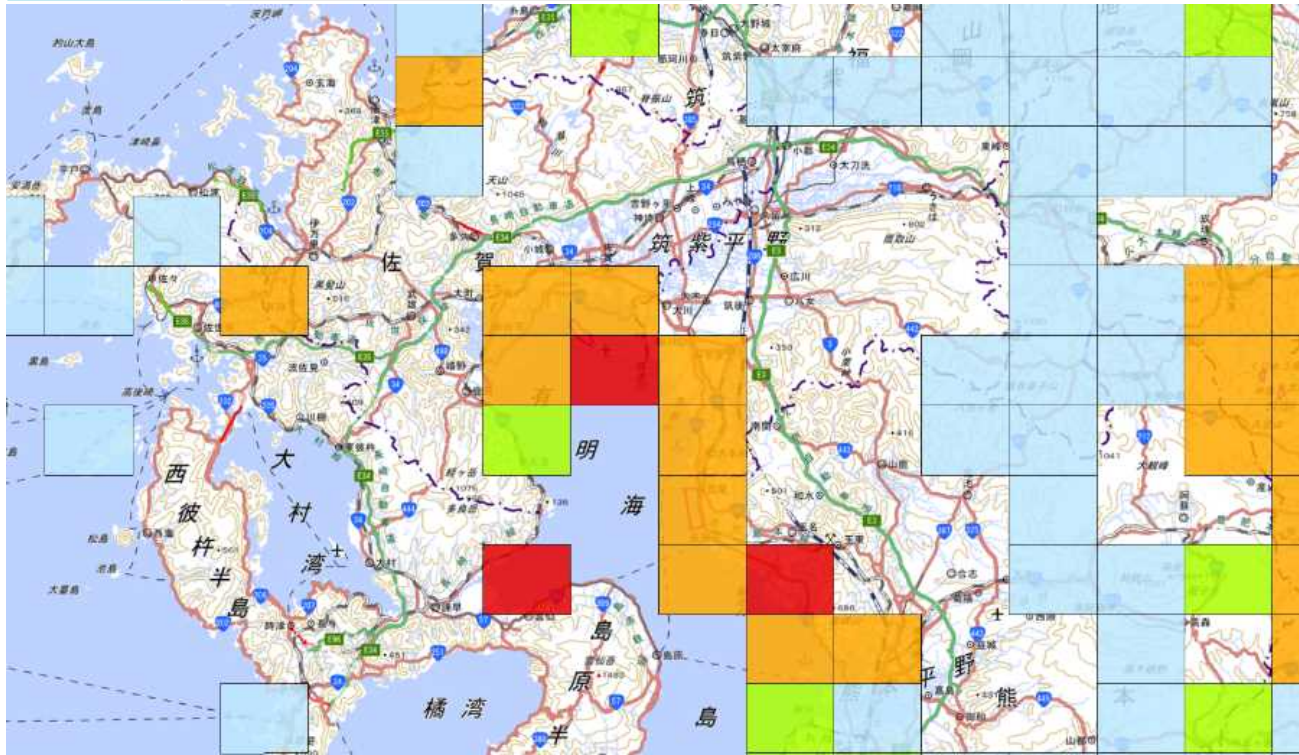
4.2 レイヤ 注意喚起メッシュ 1/4



4.2 レイヤ 注意喚起メッシュ 2/4



4.2 レイヤ 注意喚起メッシュ 3/4



4.2 レイヤ 注意喚起メッシュ 4/4



4.2 レイヤ 日中の渡りルート ルート図 1/3



4.2 レイヤ 日中の渡りルート ルート図 2/3



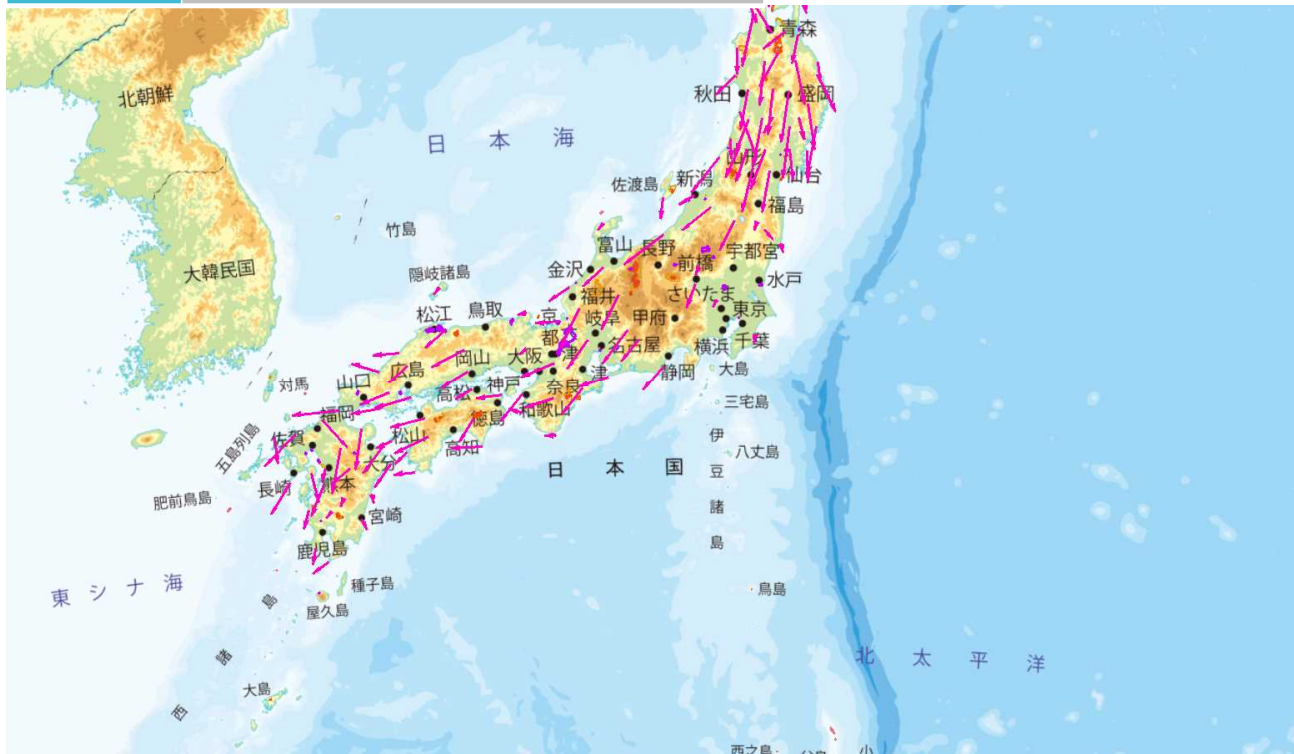
4.2 レイヤ 日中の渡りルート ルート図 3/3



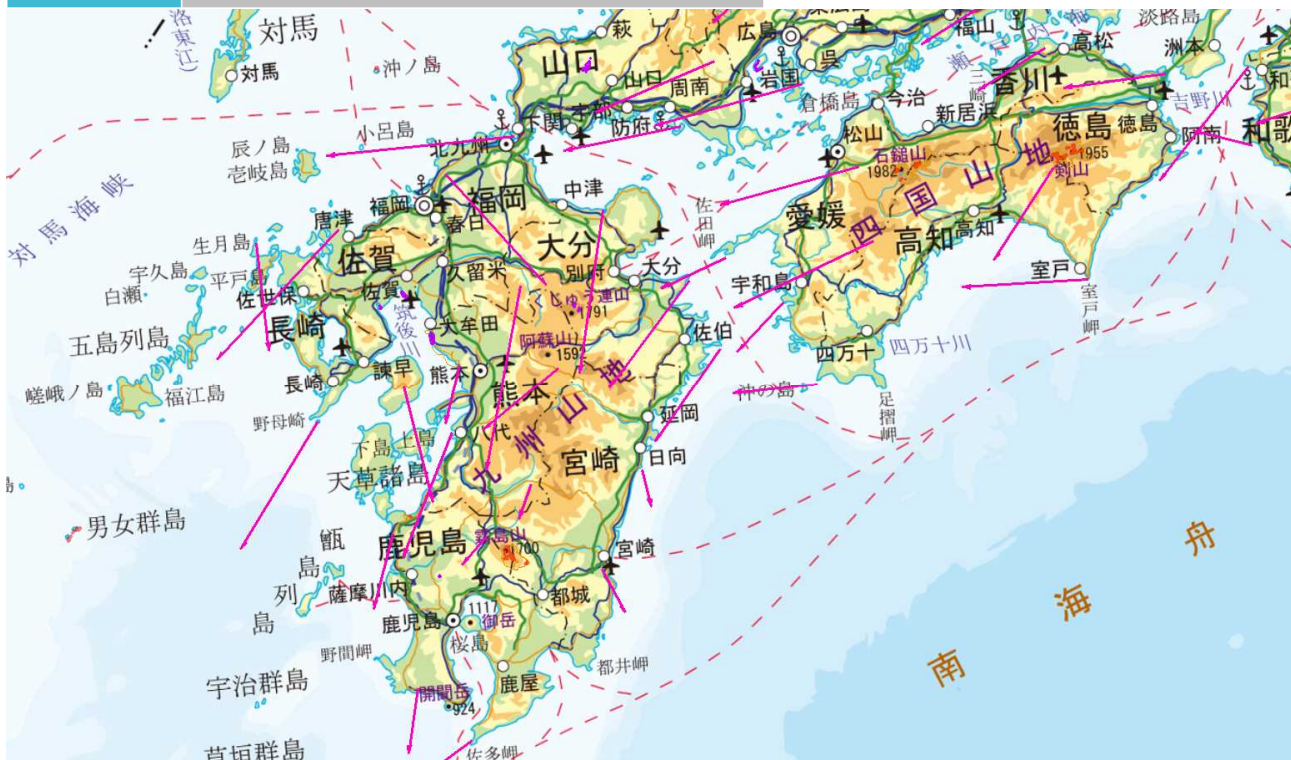
4.2 レイヤ 夜間の渡りルート ルート図 1/3



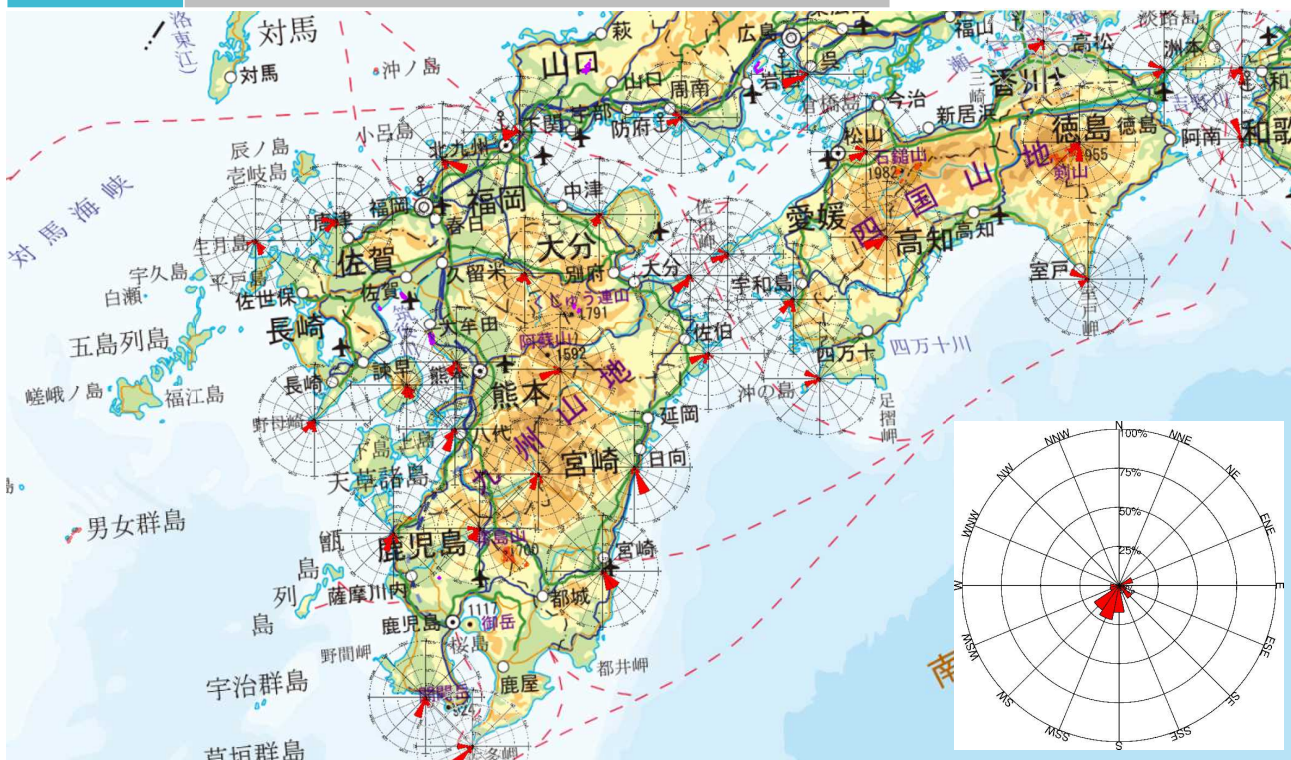
4.2 レイヤ 夜間の渡りルート ルート図 2/3



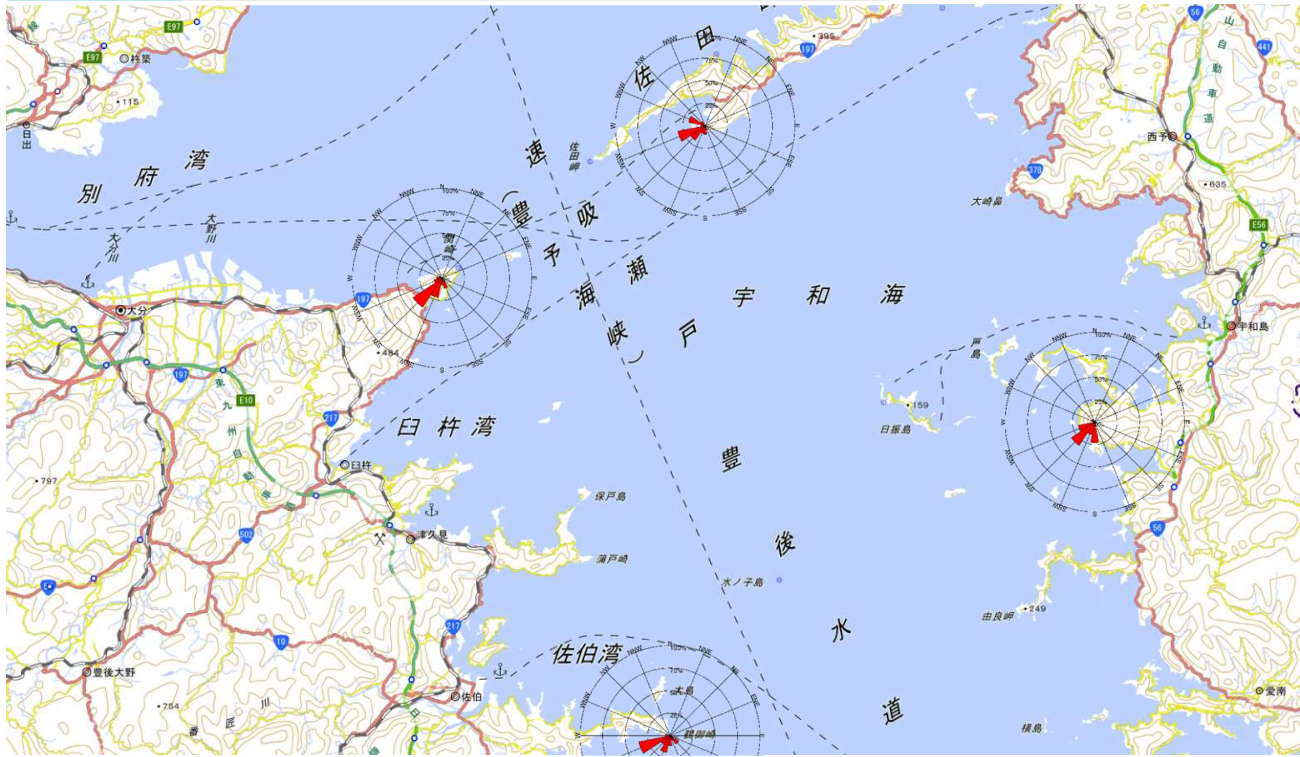
4.2 レイヤ 夜間の渡りルート ルート図 3/3



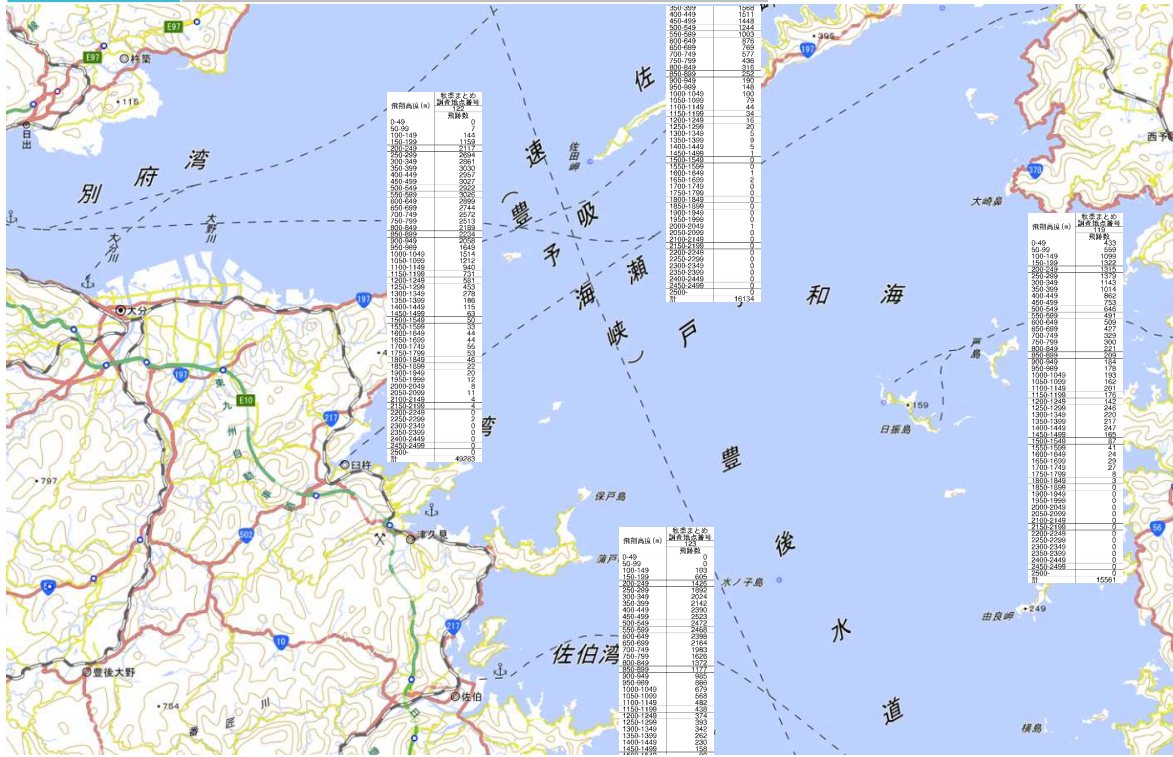
4.2 レイヤ 夜間の渡りルート 飛翔方向グラフ 1/2



4.2 レイヤ 夜間の渡りルート 飛翔方向グラフ 2/2



4.2 レイヤ 夜間の渡りルート 高度別飛翔数表



飛翔高度 (m)	秋季まとめ 調査地点番号 122 飛跡数
0-49	0
50-99	7
100-149	144
150-199	1159
200-249	2117
250-299	2694
300-349	2861
350-399	3030
400-449	2957
450-499	3022
500-549	2922
550-599	3026
600-649	2899
650-699	2744
700-749	2572
750-799	2513
800-849	2189
850-899	2234
900-949	2058
950-999	1649
1000-1049	1514
1050-1099	1212
1100-1149	940
1150-1199	731
1200-1249	581
1250-1299	453
1300-1349	278
1350-1399	186
1400-1449	115
1450-1499	63
1500-1549	50
1550-1599	33
1600-1649	44
1650-1699	44
1700-1749	55
1750-1799	53
1800-1849	46
1850-1899	22
1900-1949	20
1950-1999	12
2000-2049	8
2050-2099	11
2100-2149	4
2150-2199	4
2200-2249	0
2250-2299	2
2300-2349	0
2350-2399	0
2400-2449	0
2450-2499	0
2500-	0
計	49283

4.3 原典情報

情報項目

下のリンクをクリックすると各種情報項目を表示できるウィンドウを表示します。

表示設定

- 全国環境情報
- 再生可能エネルギー情報
- 情報整備モデル地区環境情報
- (NEDO) 環境調査前倒方法実証事業情報

センシティビティマップ

操作

全ての表示状態を初期化する

環境アセスメントデータベース

ゲスト ログアウト

操作説明

情報項目-センシティビティマップ

センシティビティマップ

注意喚起メッシュ

- ・注意喚起メッシュ
- ・メッシュ情報

鳥類の渡りルート

- ・日中の渡りルート ルート図
- ・夜間の渡りルート ルート図 (春季)
- ・夜間の渡りルート ルート図 (秋季)
- ・夜間の渡りルート 飛翔方向グラフ (春季)
- ・夜間の渡りルート 飛翔方向グラフ (秋季)
- ・夜間の渡りルート 高度別飛跡数表 (春季)
- ・夜間の渡りルート 高度別飛跡数表 (秋季)

重要種

その他

ラムサール条約湿地及び鳥獣保護区 (国指定)

ラムサール条約湿地

鳥獣保護区 (国指定)

2次メッシュ番号

2次メッシュ番号

重要種の繁殖期・非繁殖期の分布 (申請後)

重要種の繁殖期・非繁殖期の分布

集団飛来地の調査結果 (申請後)

集団飛来地の現地調査結果

集団飛来地のヒアリング調査結果

53

4.3 原典情報

情報項目

下のリンクをクリックすると各種情報項目を表示できるウィンドウを表示します。

表示設定

- 全国環境情報
- 再生可能エネルギー情報
- 情報整備モデル地区環境情報
- (NEDO) 環境調査前倒方法実証事業情報

センシティビティマップ

操作

全ての表示状態を初期化する

環境アセスメントデータベース

ゲスト ログアウト

操作説明

情報項目-センシティビティマップ

センシティビティマップ

注意喚起メッシュ

- ・注意喚起メッシュ
- ・メッシュ情報

鳥類の渡りルート

- ・日中の渡りルート ルート図
- ・夜間の渡りルート ルート図 (春季)
- ・夜間の渡りルート ルート図 (秋季)
- ・夜間の渡りルート 飛翔方向グラフ (春季)
- ・夜間の渡りルート 飛翔方向グラフ (秋季)
- ・夜間の渡りルート 高度別飛跡数表 (春季)
- ・夜間の渡りルート 高度別飛跡数表 (秋季)

重要種

その他

ラムサール条約湿地及び鳥獣保護区 (国指定)

ラムサール条約湿地

鳥獣保護区 (国指定)

2次メッシュ番号

2次メッシュ番号

重要種の繁殖期・非繁殖期の分布 (申請後)

重要種の繁殖期・非繁殖期の分布

集団飛来地の調査結果 (申請後)

集団飛来地の現地調査結果

集団飛来地のヒアリング調査結果

地域の情報および説明

表示対象: 音、騒音及び生態系の状況(動物) / イヌワシ・クマタカ_生息分布

内容	1990年から2002年3月におけるイヌワシ及びクマタカの生息分布状況を、生息確認ランク別(2次メッシュ)で示したもので、2次メッシュ単位の分布情報のほか、生息確認調査時期、生息確認ランク等の情報を整備したものです。このGISデータは、原典項目に示す資料の2次メッシュ単位の分布数量表をもとに作成しています。
原典	1. 鳥獣等に関する風力発電施設立地適正化のための手引き (付表A: 2次メッシュレベルにおけるイヌワシ、クマタカおよび風車の分布) 平成23年1月_環境省自然環境野生生物課 / 2. 生息確認調査の報告: 「希少猛禽調査(イヌワシ・クマタカ)の生息等に関する結果」平成16年8月_環境省、経済産業省、国土交通省(林野庁協力)
整備年度	1. 平成22年度、/ 2. 平成16年度
URL1	http://www.env.go.jp/nature/yasei/ig_windplant/guide.html
URL2	http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=5218
URL3	
留意事項1	【図の注釈】 注1) イヌワシの生息確認ランク: 「生息確認」既存資料調査、現地調査、アンケート調査から生息が確認されたメッシュ。【生息推定】アンケート調査から生息が推定されたメッシュ。「一時滞在」既存資料調

● 内容、原典、整備年度、留意事項、表示縮尺の制限

54

トップページ

このサイトは、環境アセスメントにおいて地域特性を把握するために必要となる自然環境や社会環境の情報を、地図上で閲覧できる地理情報システム（GIS）で提供しています。

このサイトについて データベースを見る

データベースを見るためには、各情報の「[ここを見る](#)」をクリックしてください。また、その際に表示される利用規約を確認してからご利用ください。

地理情報システム（GIS）

次の情報を地図上に重ねて閲覧できます。

- 全国環境情報
- 再生可能エネルギー情報
- 情報整備モデル地区環境情報
- (NEDO) 環境調査前創方法実証事業情報

地図を見る >

詳細を見る >

情報整備モデル地区環境情報報告書

情報整備モデル地区環境情報の報告書を閲覧、ダウンロードできます。

報告書を見る >

詳細を見る >

参考文献

- 風力発電に関する以下の情報を検索・閲覧できます。
- 鳥類・コウモリ類への影響に関する文献資料情報
 - 騒音・低周波音に関する文献資料情報
 - 風力発電等に関する指針・ガイドライン情報
 - 風車諸元（規模、仕様等）の情報

文献を見る >

詳細を見る >

環境影響評価事例

環境影響評価法や条例等に基づいて行われた風力発電所・地熱発電所に係る環境影響評価書の記載内容（概要）を閲覧できます。

事例を見る >

詳細を見る >

スマートフォンでの利用

スマートフォン向けサイトを聞く >



「接続の安全性を確認できません」、「プライバシーが保護されません」等の警告が表示されたら >

ニュース&トピックス

過去のトピックスを見る >

2017.12.25

EADASのパンフレットを掲載しました。下記のリンクをクリックして頂くと、ご覧いただけます。
 ・A4版
 ・A3 見開き版
 ・A3 製本版

推奨動作環境

画面サイズ：1024x768ピクセル以上
 ブラウザ：Internet Explorer 11以降、Firefox最新版（44以降）、Google Chrome最新版（48以降）、Safari最新版
 ※地図の閲覧にはプロード/バンド接続（10Mbps以上の回線速度）が必要です。

トップページ > 地理情報システム（GIS） > 全国環境情報について

全国環境情報について 情報整備モデル地区環境情報について (NEDO) 環境調査前創方法実証事業情報について

再生可能エネルギー情報について センシティブティマップについて

地理情報システム（GIS）：全国環境情報について

<< トップページに戻る

- センシティブティマップとは
- 目的
- 活用範囲
- 作成方法
- 留意事項
- 収録している情報
 - 各レイヤごとの原典情報

■ 全国環境情報とは
 環境アセスメントにおける基礎的な情報として、全国的に整備されているデータを中心に掲載しています。地理情報システム（GIS）では、背景地図上に複数の情報を重ねて表示することができます。また、GISシステムを操作することで、任意の範囲の表示、掲載されている任意のデータの重ね合わせ表示、作図、印刷等が可能です。

■ 収録している情報
 情報名をクリックすると収録している情報の内容と原典に関する情報を確認することができます。

原典情報を全て開く・全て閉じる

全国環境情報

- 自然的状況 > 大気環境の状況 > 気象観測所

内容	気象庁が管理し気象観測を行っている気象官署の位置、観測している気象要素等を整備したものです。
原典	1. 地域気象観測所一覧（気象庁）
整備年度	平成28年度
URL1	http://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/amedas/ame_master.pdf
URL2	
URL3	
留意事項1	原典資料の「地域気象観測所一覧」は気象庁のHPで公開されているものを使用しているため、同HPに掲載されている「利用規約 1. 気象庁ホームページのコンテンツ利用について」を選択してください。特に、原典の出典の記載（「気象庁ホームページ（左記のURL）」）に留意してください。
留意事項2	
表示縮尺の制限	[縮小の限度]1：2,350,000、[拡大の限度]1：18,000